

区政会議(平成27年10月5日開催)でいただいたご意見(概要)

	意 見	回 答
地域での見守り	ネットワーク推進員は地域にとって必要不可欠である。復活してもらいたい。	今後予算編成にあたって、前向きに考えていきます。現在実施している「ふくしま暮らし支えあい事業」をどうするかなども含めて検討してまいります。
	見守りネットワーク強化事業について、要介護3でなくても一人暮らしで見守りが必要な方はいるので、その方々への対応も考えてもらいたい。	⇒28年度から、各地域に地域福祉コーディネーターを配置する「地域の福祉活動サポート事業」をたちあげ、「ふくしま暮らし支え合いシステム事業」とともに一体的に運営し、地域での見守り等の支援につなげていきたいと考えています。
	名簿があっても細かいことは地域でないとわからない。見守りネットワーク強化事業を充実させるためにも、ネットワーク推進員の援助をしてもらいたい。	要介護3以上だけという認識はなく、地域で作成いただいた災害時の要援護者名簿やお持ちの情報など合わせながら、地域としてのストック(名簿)としていき、見守りにつなげていきたいとの思いです。
	見守りネットワーク強化事業をきっかけに、今は地域から見えていない要援護者が少しでも見えるようになることを期待している。	
	ふくしま暮らし支えあい事業の認知度が低いようなので、PRに力を入れてもらいたい。	問題意識は持っており、引き続き普及には力を入れてまいります。
防 災	津波避難施設について、地震だけでなく大雨による洪水の際にも使えるように、施設にお願いしてもらいたい。	区役所から事業者に持ちかけてまいります。
	津波避難ビルについて、建設中のマンションにも協力を依頼してもらいたい。	建設中のマンションなども対象にしながら、今後とも津波避難ビルの協力要請を行ってまいりますので、地域の皆様方のご協力もよろしくお願いいたします。
	震災発生時には、避難所のトイレの問題が心配である。その対応も検討してもらいたい。	震災発生時のトイレの問題は重要と考えており、携帯トイレの装備や仮設トイレの設置など、対応を検討し準備しています。
	地域の防災訓練に中学生に参加してもらえよう、区役所からも学校に働きかけてほしい。	学校に相談をしてみます。
	(災害に関して)役所だけに任せるのではなく、地域のことはもっと地域にお願いしてはどうか。	ご指摘のとおり役所ですべてを担うことは不可能であり、自助・共助・公助という役割分担を念頭に置きながら、災害対策を進めてまいります。
子 ども	子どもが増えて区内の3中学校も手狭になってきているので、関係者の連携を密に、増築等早めの対応をお願いしたい。	後手に回ってはならない問題であり、大規模なマンション建設の情報は早めに入手するようにしています。今後とも教育委員会や学校、地域との連携を密に、早めの対応を心がけてまいります。
	子どもが増えているので、幼稚園・保育所の増設をお願いしたい。	保育園の拡張や開園・民間応募の働きかけなどを行っています。待機児童の問題は区の課題であり、引き続き取り組んでまいります。
	中学校給食が始まっているが、朝食(パンなど)の提供もできないか検討してもらいたい。	朝食を食べない子どもの問題は認識していますが、学校給食での朝食提供は難しいのが実情です。ご意見は教育委員会にも伝えてまいります。

要望等	駐輪場が汚いので清掃してもらいたいという要望を聞いている。	具体的な場所・状況に応じて、建設局を通じて駐輪場を管理している指定管理者に伝えます。
	マンション前に駐輪している自転車が倒れるなどして危険なので対応してもらいたい。	建設局及び警察と連携して、具体的な場所・状況に応じて、対応方法を相談・検討させていただきます。
	高速道路横の木の枝が伸びて危険なので対応してもらいたい。	具体的な場所・状況に応じて、関係先に対応を要請します。
	区の繁栄には中小企業や商店街への支援も必要であり、経済戦略局の出先機関(施設、部署)をつかってほしい。	人員の問題等もあり出先機関をつくることは難しいかもしれませんが、会合等さまざまな場面で企業や商店街の方の声を聞く機会もあり、そのような機会やご意見も大切にしていきたいと思います。
区政会議	区政会議のテーマについて、もっと区民に身近なサイズのものにしてもらえると参加しやすい。	区政会議は区民を代表して区政運営へのご意見をいただく場となっていますが、それ以外にも「区長に届けみんなの声、そして小さな声」や、区長や職員が直接伺うこともできるので、さまざまな形でご意見をお寄せいただきたいと思います。
	区政会議の委員について、多様な意見を聴くために、公募委員の数を増やしてはどうか。	どのようなバランスがよいかなど、ご意見を参考に今後検討させていただきます。
	区政会議のメンバーで事業方針(対案)を作成し、区役所案と比較して区民に選択してもらおうようなことをしてもよいのではないかな。	対案をつくるという方法がよいのかは広くご意見を伺わねばなりませんが、会議の中でできるだけ多くのご意見をいただき、区政運営に活かしていきたいと思います。
その他	行政に対する要望が多いが、地域がもっと積極的に動くべき課題もあったように思う。	行政と地域が車の両輪のように協力しながら、区の課題に一つひとつ取り組んでいきたいと考えており、今後ともご協力をお願いいたします。